



町
報

よぶこ

発行 呼子町・編集 企画課・印刷 唐津印刷有限会社

町 勢

昭和53年 8月末現在

住民基本台帳による

人 口 男 3,685人

女 3,981人

計 7,666人

世帯数 2,027世帯

一戸平均 378人

お田島さま

「夏越し祭り」

何千年のロマンが眠る、歴史の里加部島の田島神社の「夏越し祭り」が7月29日30日の両日行なわれました。

旧暦の6月末は島の人達の田植えも終って一息つく時期でもあり七月の盆を迎えるにあたって身を

清め、つつしみをあらわす物忌の機会でもあったようです。そのためにみそぎをして、年に一回田島神社に島の人達全部があつまって神の祭礼を行っていたのが「夏越し祭り」であったようです。亦神社ではこの日に茅でこしらえた輪を縄に結びつけ、氏子それぞれをくぐると無病息災であるといふことです。



お下り行列



御神輿



茅をくぐって

お母さんおうちのかぎは大丈夫

あき巣ねらいの防止は

「心の戸締まり」から

ひと口にドロボウといってもいろいろですが、一般家庭が最も被害を受けるのは、なんといっても「空き巣ねらい」です。十月十一日から二十日までの十日間、全国いっせいに防犯運動が行われるのを機会に、あき巣ねらいの防止について考えてみましょう。

ドロボウは玄関から
「空き巣ねらい防止五か条」

昨年、全国で約十五万四千六百件、なんと三分間に一件の割合で空き巣が活躍、年間九十七億円もかせいでいるのです。

空き巣ねらいで目だっているのは、その約半分の四七・六%が、玄関から堂々として入っていることです。次いで、窓(二四・九%)、勝手口(一二・八%)、縁側(一〇%)……。

ドロボウが玄関からどうやって入ったかをみると、被害にあった家の三五・九%が、玄関のかぎを忘れられているのです。これでは「ドロボウさん、どうぞ」といっているようなものです。

かぎかける手間を惜しむな一・二秒

次に多いのは、ガラス破り、錠あけ、錠破りなど、戸締まり設備の弱点をつかれたものです。外出のときは、次の五つは確実に、チェックしましょう。

▽出入り口や窓には、じょうぶなカギを。

▽ちよつとの留守でも戸締まりを。

▽お隣にひと声かけて出かけましょう。

▽留守を空き巣ねらいにさどられないように。日暮れまでには干し物を入れておくように。牛乳、新聞などは何日分もためないように。

▽カギを牛乳箱や郵便箱に入れておかないこと。

簡易保険積立金
融資施設
呼子町役場

簡易保険積立金
十兆円突破

簡易保険は大正5年創業以来、皆様から「郵便局の簡易保険」として広く親しまれ利用されてきましたが、お陰様で現在総加入件数五、〇〇〇万件、契約高は三十七兆円となり、また、資金総額は去る七月四日十兆円の大台を突破しました。

この簡易資金は、加入者の皆様からお預かりした大切な信託財産として、市町村などの地方公共団体をはじめ、公団、公庫など政府機関に融資され、住宅や学校、道路等皆様の身近な生活環境の整備拡充に役立っています。当呼子町内にも52年度中に庁舎改築事業

や災害事業に四千五百二十万円が融資され、現在までに累計四十一件、三億二千百一十万円が融資されています。

郵便局としましては、この十兆円突破を契機に、さらに豊かな住みよい町づくりにお役に立ちたいと考えておりますからよろしくお願いいたします。

呼子郵便局

呼子町職員
採用試験実施

11月26日午前9時

呼子町職員の採用試験を次の要領により実施いたします。

1、受験資格及び採用予定人員
呼子町に住所を有する方で、昭和28年4月2日から昭和36年4月1日までに生れた人で、一般事務(女子)2名の採用を予定しています。

2、試験日及び場所
(1)日時 昭和53年11月26日(日曜) 日午前9時

(2)場所 唐津市(唐津商業高校) 予定

3、受験手続及び受付期間
(1)申込手続、申込書及び試験案内は本町役場総務課にあり

ます。
(2)受付期間 昭和53年10月2日(月曜)から昭和53年10月

21日(土曜)まで受付けます。尚くわしいことは呼子町役場総務課にお問い合わせ下さい。

年金権の復活
保険料の特例納付

年金に加入しなかったり、保険料を忘れためたために、年金は受けられないときあらめている人はいませんか。

今回、法律の改正により今年の7月より国民年金保険料の「特例納付」制度がはじまりました。

この特例納付は、国民年金に当然加入しなければいけない強制加入者(20才から59才までの農、漁、商業、自由業、無職の人など)の期間で、時効にかかった滞納期間をさかのぼって一ヶ月4、〇〇〇円の特別保険料を納めれば年金の受給資格がとり戻せるというものです。

「特例納付」の取扱いは期間は、昭和55年6月30日までと限られていますので、この期間を有効につかって、分割あるいは一括して納めて下さい。

すでに65才をすぎている人は、一括して「特例納付」をして年金受給に必要な期間を満たすと、その翌日から年金が受けられます。また、分割して納めるときは、注意していただくことがありますので、役場の年金係におたずねください。

災害と税金

九月十五日の台風で被害を受けた方に對しお見舞申しあげます。

風水害や火災、地震などによって大きな被害を受けた場合には、所得税を軽減したり免除したりする救済措置がもたらされています。その一つは所得税法に定められた「雑損控除」による方法と、一つは災害被害者に対する租税減免、徴収猶予等に関する法律（災害減免法）に規定する税金の軽減免除による方法とがあり、このうちいずれか有利な方法を選択することができます。

所得区分		所得税額
合計所得金額	200万円以下の場合	全額免除
	200万円をこえ 300万円以下の場合	2分の1軽減
	300万円をこえ 400万円以下の場合	4分の1軽減

の年の所得の合計金額が四百万円以下の場合、次の表のように合計所得金額の大小に応じて、所得税額を全額免除したり、二分の一または四分の一を軽減したりする方法です。

サラリーマンについては、住宅や家財道具の二分の一以上の損害を受け、その年の合計所得金額の見積額が四百万円以下の場合、災害減免法の規定により、合計所得金額の見積額に応じ源泉所得税額の徴収猶予や今年すでに納めた源泉所得税額の還付を受けることができます。

雑損控除や災害減免法による所得税の軽減免除の措置は、最終的

には確定申告により適用を受けることとなります。

祭壇の用意が出来ました

町社会福祉協 葬儀の簡素化を願う

町の社会福祉協議会では、このごろ葬儀用祭壇二組を購入されて皆様への貸付を始めています。これは皆さんから葬儀費用の節減のためにも要望が出ていたものです。三月に購入の予定であったのですが、京都から取り寄せるなどで納品が遅れていました。貸し付けは初七日を見込んだ七日以内とされ料金は二万五千円。飾り付け、取りはずしも、町社会福祉協議会で行ないます。また協会の方では、祭壇貸し付けは

くわしいことは、税務署（電23141番）におたずねください。

かりでなく、棺、棺フツン、骨箱、仏衣など葬儀に直接必要な道具の販売もしています。皆さんのお気軽な利用を係でも願っています。

新しい青年団で交通安全運動呼びかけ

昭和53年度役員改選による青年団が、融和と誠実をモットーに発

足、町の行事参加の一端として、7月16日、愛宕町の呼び自動車工場の前で、交通規則を各人が自覚して戴き、できる限り事故を無くしましょうとドライバーに呼びかけて、一方ドライバーの人達に少ない時間の休息をとってもらおうと、カーアクセサリーと、冷たい飲料水をサービスいたしました。参加団員6名と高校生3名の協力を得て、行なわれましたが、通るドライバーの人達も冷たい飲物のサービスに嬉しそうでした。改選役員は次の方達です。

団長 古里 昭彦（先方町）副団長・会計兼任 内村 俊康（松浦町）社会部長 浜崎 勇一（愛宕町）体育部長 秦 徳雄（愛宕町）敬称略。

友人を開拓されたい若人は、どんどん集まって下さい。毎週火曜日に町社会体育館で定例会を開いていますとの役員さんたちの言葉でした。

苦情なくして明るい生活

10月15～21日行政相談週間

〈雑損控除による方法〉
災害や盗難等により、住宅家財、現金などの資産に被害を受け、その損害額がその年の合計所得金額の十分の一をこえるときは、そのこえる額を所得金額から控除する方法です。

〈災害減免法による方法〉

災害によって住宅や家財に以上の被害を受け、しかもそ

皆さんの中に、役所や公社などの仕事について
①説明を受けたが納得できない
②処理のしかたが間違っている
③このようにしてほしい
などの苦情や要望をもって

でも、直接役所に行きにくいとか、どこへ行けばよいかわからないという方はいらっしゃいませんか。

今年も十月十五日から「行政相談週間」が始まります。二十

一日までの一週間、行政相談員が皆さんの相談に応じます。行政相談員は日ごろ、自宅で相談に応じたり、定期的に相談窓口を開設しています。とくに、この期間中は、相談活動をより活発に行うほか、交通不便な地域の方々には巡回相談所を開くなどの便宜をはかります。

最近の相談内容は、日常生活に密接な関係のある道路や河川

の問題、登記、交通安全、税金、年金などの苦情や要望が多くなっています。

相談の申し出は、直接口頭でなされることをお勧めしますが、手紙や電話でも結構です。

また、申し出は、団体でも個人でもよく、申し出人の名前や相談内容については秘密にしています。

港まつりにぎわう

花火大会に大拍手

第4回港まつりは、町の港祭り委員会（会長落合勝郎）の主催で観光協会、商工会、商店街、各漁協の共催で開かれました。本年度第4回目の港まつりは、8月10日に行われ、昨年にもまして大にぎわいでした。

行事は自衛隊音楽隊（目達原）金光教トランペット鼓隊の町内パレードに始まり、呼子魚市場での魚族供養に続いて、町長や議長、漁協長、旅館組合の人達の手でダイ、イサキなどの魚が海中に放さ

れました。

その後社会体育館にて、自衛隊の演奏会、玄海太鼓、金光教トランペット鼓隊の演奏、また小川島に昔のまま残されている同島老婦人たちによる、正調「鯨骨切り唄」の合唱などがあつて、夜の供宴に移り、打上花火、水中花火、仕掛け花火などの美しい火の乱舞に大拍手でした。

商店街では夜市が開かれ、浦方漁協前の荷揚場では、生盛りに生ビールの大安売りで大繁盛でした。



花火大会



自衛隊パレード



魚族供養

スポーツだより

準優勝の水泳選手（県体）



県民体育大会総合競技より一足早く開催されました。県民体育大会、水泳部門で東松浦郡代表として出場された呼子町選手の方々は、大森章生監督以下大活躍の結果、準優勝の栄誉を手に入れました。

郡民体育大会壮年ソフトボールで優勝された、河野留雄監督以下選手の方々は、来る10月7・8日の両日開かれる県民体育大会ソフトボール部門で、東松浦郡代表として壮年ソフトボール大会に出

場されます。皆さん御声援をお願いします。

7月2日より始められていた後期早朝ソフトボール大会はこのほど全試合が終了いたしました。待望の優勝議長旗は山口議長の手からメイトチームの手に渡されました。選手の皆さん本当に御苦勞さんでした。

尚成績は次の通りです。

①メイト ②緑が丘 ③河太郎 ④弁天 ⑤マツシエ

尚亦前後期通じての総合成績は次の通りです。

①緑が丘 ②レディバード アストロ ④弁天 ⑤メイト マツシエ ⑦河太郎 ⑧呼びクラブ ⑨ジャンプ ⑩キャンディ

⑪松浦クラブ

本塁打順位

①12本 山口(ジャンプ) ②11本 畑瀬(キャンディ) ③9本 福本(緑が丘) ③9本 佐藤(レディ

バード)

呼子町商工会主催町民ソフトボール大会は、このほど13チームが参加して行われました。呼子造船

鉄工連チームが優勝、2位呼子町役場チーム、3位山下酒販チームと南部商店街チームの成績でした。

8月3日呼子中学校で子どもクラブ連合会主催になる、子どもクラブソフトボール大会が開催されました。男女ちびっ子選手が力い

っぱいのプレーをして、応援に

つけた家族や友人から、さかに声援を受けていました。

この大会はソフトボールを通じて、町内の親睦と交流を深めるために毎年行なわれているもので、今回で14回目になります。成績は次の通りでした。

優勝小川島子どもクラブチーム

②位 加部島子どもクラブチーム

③位 若竹子どもクラブチーム

③位 こまどり子どもクラブチー

ム

8月8日第一回東松浦郡子供ソフトボール大会(佐賀新聞社、同郡子供クラブ連絡協議会主催)は

玄海町有浦中学校グラウンドで、玄海、鎮西、呼子各町から4チームずつの計12チームが出場し、トナメントで熱戦を繰り広げた結果、

優勝は加部島チーム、三位こまどり(呼子)海の子(玄海町)の順位でした。

この大会は、昨年まで行われていました上場地区子供クラブソフトボール大会を拡大した大会で、通算で14回大会に当たります。今

回までは他町村の出場準備が整わなくて、参加は上場だけでしたが来年からは盛大な大会になるよう

です。

少年野球大会が佐賀市の佐賀球場、昭栄中グラウンドの二会場

で10日から3日間の予定で開催さ

ました。呼子町から呼子シールズが代表として出場しましたが、惜しくも北方小球友会に敗れました。

8月20日呼子中学校プールにてP・T・A主催になる部落対抗少年水泳大会が開催されました。

この大会は今回で第7回目、町内各部落の小学生一年から中学生

三年までの男女選手約百五十人が参加して、小学一年から四年までが25歳、それ以上は50歳、中学生は100歳と、男女学年別々に距離も

わけて、自由形、平泳、背泳と各種目を設け、各地区別の小中学生組合せ、小中学生と父兄の加わったリレーもあって、海の町呼子の

子供の意気を充分に発揮してくれました。

8月27日(日曜日)呼子中学校グラウンドと土俵場で、子供クラブ

連絡協議会主催のドッチボール大会と少年相撲大会が開催されまし

た。今年集まった豆力士達は6チ

ーム、小学4年から中学1年までの男子60人で、小川島からは2チームが参加しました。

選手達は体気、技、知、勘の総合能力を発揮して、日本の国技にちよう戦、大熱戦と父兄の声をか

らしての応援のうちに、大会を終

りました。

尚ドッチボールは3年以下の男子と、6年までの女子のクラブ対抗で、試合になれないせいもあり

たのか色々な珍プレーもありましたが、それでも皆んな楽しそうに

ボールと取組んでいました。お世話の小父さん達もこれなら皆んな

が参加出来るので続けたいものですと話しておられました。

各試合の成績次の通りです。

相撲大会

団体戦 ①海士町チーム

②殿之浦西チーム

ドッチボール大会

①川端町 ②仲よし

優勝小川島チーム



サアークぞ



豆力士たち



水泳大会



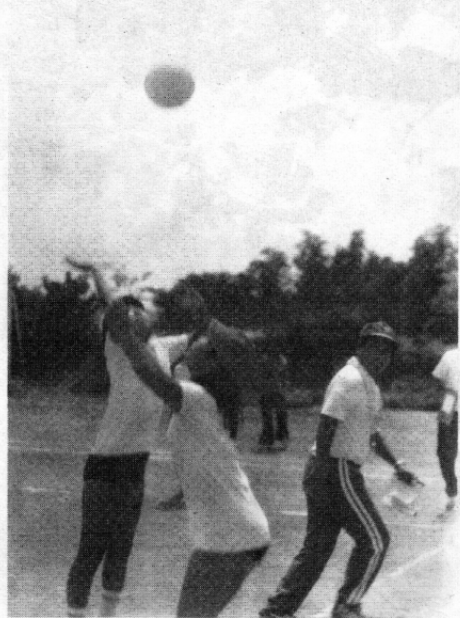
勇壮な海の祭り

小友祇園山笠

小友部落の年中行事、八坂神社祇園祭りが7月18・19日の両日にわたりにぎやかに行われました。

このお祭りは大人山笠、子供山笠の二台からなり、今年の大入山笠は大江山の合戦場、宮本武蔵、などをあしらった高さ12尺の飾り山笠、みそぎ場で身を清めたそりのハッピにまわし姿の若衆が、鐘、大鼓のはやしにあわせ「アーサッサ、アーサッサ」のかけ声も勇ましくかつぎ上げ、部落の路地をねり回ったあと、小友湾内に入り胸や首までつかり豊漁、商売繁昌、無病息災の祈願が行われました。

ドッチボール大会



ゴミの不法投棄をやめよう

ゴミの不法投棄に対して

町民みんなで厳しい目を……

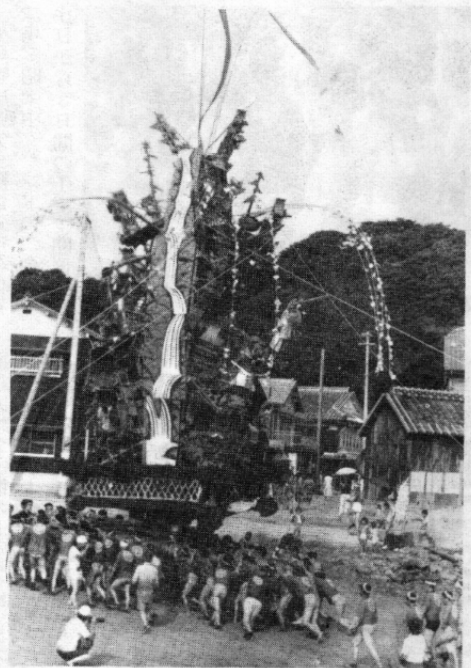
道路わきに捨てられた「空きん」「空びん」「ビニール袋」など、私たちの生活する環境を汚しています。又、道路わき、川岸、空地、山などにも種々雑多のゴミが、不法に捨てられて

いるのをよく見かけます。これらのゴミを捨てた人は、どんな気持で捨てるのでしょうか。一部の心ない人びとによる不法投棄が、環境をいぢじるしく汚染する原因となっています。私たちは、これらの人びとをただ、だまっで見過すわけにはいきません。よりよい生活環境をつくるためにも、監視することが大切です。

第11回佐賀県

離島青年会議終る

昭和53年度の離島青年団他2団体主催の会議が、唐津市の国民宿



舎で8月5日より2日間の日程で開かれました。当町より小川島並びに加部島の青年が多数出席し、島をとりまく諸問題、なかでも嫁不足問題、離島青年の役割についての積極的な意見の交換が行われ又研修に汗を流し「より多くの島民が定住できる島づくりに参画しよう」と出席した女性を交えた71名の青年の力強い大会決議が行われました。

第2日目には各島青年団対抗のバレーボールが行われ、小川島は四チームを出して堂々準優勝、加部島チームは惜しくも一回戦で敗退しましたが、この和気あいあいとした試合で、各島の連携が一層強まり有意義な会議となりました。

電話じようずが

あなたを生かす

○ダイヤルする前に電話番号を確かめましょう。

○ダイヤルはメモを見ながら正しくまわしましょう。

○ダイヤルは途中休まず続けてまわしましょう。

○ダイヤル後15秒ぐらいの無音は故障ではありません。

○相手がお話中のときは、お急ぎでしょうが2・3分待つてかけなおしましょう。

唐津電報電話局

秋

の交通安全運動

9月21(木)～30(土)に展開!

事故の絶滅! みんなの願い

車は凶器



☆ 今年も九月二十一日から☆
 ☆ 十日間、全国いっせいに「☆
 ☆ 秋の交通安全運動」が展開☆
 ☆ されます。
 ☆ 私たちは、事故の絶滅を☆
 ☆ みんなの願いとして、お☆
 ☆ 互いが十分注意しましょう☆

楽しかった夏休みも終わって子供たちは新学期。これまでの開放的な毎日から生活のリズムが変わり、注意力は散漫となつて、交通事故にも結びつきやすくなります。又、お年寄りも外出の機会がふえ、交通事故にあいやすい時期でもあります。

そこで、今年も秋の交通安全運動を町民の皆さんとともに展開するわけですが、テーマは、
 ①歩行者及び自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止。

②飲酒暴走運転の追放。
 ③安全運転管理の充実と安全運転の促進。以上三点に重点が町では、この期間中の運動事項として……
 ※黄色い羽根の街頭配布(初日)などを予定しています。

昭和五十二年の交通統計をみると、全国で歩行中に自動車にはねられて死亡した人は、二千九百六十一人にのぼっています。

町内の皆さんが、交通事故を絶滅するためのこの運動に参加され、町民総ぐるみで交通安全運動が遂行できますようご協力かたお願いします。

青年団主催
楽しい盆踊り大会

町の行事の一つである盆踊り大会は、今年も古里青年団長を始め男女団員や団先輩の方々の御苦労のおかげで、8月14・15日の両日駅前広場で開催されました。小さ

な男の子や、中学生、小学生のお姉さん達が浴衣姿も楽しそうに、二重の輪になって数々の歌に合わせて踊りながら夏の夜の一日を楽しそうに続けられていました。
 団員の皆さん御苦労さんでした。

引揚者の皆さんへ

佐賀県引揚者団体連合会では、現在、在外私有財産等にかかる問題に取り組んでおります。
 引揚者の皆さんで、まだ名簿に登録されていないか、この在外私有財産問題等を、よくご存じでないかたは、次の説明推進委員にご相談下さい。

島本五郎会長②3409(松浦町)堀尾喜一郎②3375(先方西中町)日浦清人②3011(宮町、東中町)伊藤喜一郎②198



10月1日には、全国的な規模で住宅統計調査が行われます。

たしかめよう日本のすまい

10.1 住宅統計調査にご協力を

この調査は、住宅関係の諸施策に必要な統計をつくるための最も基本的な調査で、昭和23年以来5年ごとに行われており、今回の調査はその7回目にあたります。

この調査によつて、わが国の住宅の実情が地域別に明らかにされ、その結果は、国はもとより県や町などが立案、実施する住宅建設計画、都市計画、環境整備計画などの基礎資料として活用されます。

調査の方法は、標本調査といつて、いくつかの区域を選び出し、その区域に住んでおられる世帯のかたに「調査票」の記入をお願いすることになります。

後日、調査員が伺いますのでその節は、調査票へのご記入がたよろしく願います。

(企画課統計係)



1(天満町)嶋本五郎②3409
 (松浦町)関ヌイ②3810(川端町)鶴恭一②3011(愛宕町)牧山正之助②2755(殿ノ浦西)高塚勇②3424(殿ノ浦浜岡)石山虎一②1392(加部島片島)吉川康②8351(小川島)浜口竜彦②3345(大友、小友)

お米は登録米穀店で 買いましょう!

お米は統制品

お米は、生産から販売まで全て食糧管理法によって統制され、知事の登録を受けた販売店でないとお米の販売は出来ないことになっています。

最近、お米が過剰気味であるため、食糧管理法が守られず登録米穀店以外で不正規(ヤミ)に販売されているケースを見受けられます。登録店のお米は品質保証

登録米穀店のお米は、お米の品質、内容量、袋の表示などについて、消費者不利益とならないよう常時監視、指導し、定められた品質などの保持をはかっています。一方、登録米穀店以外のお米は、監視や指導の対象になっていないため、品質や内容量などの保証がありません。

ヤミ米を取扱うと処罪されるかも
ヤミ米を取扱ったり、飲食店などがヤミ米を買うと食糧管理法違反で処罪されることがあります。また、農家が政府以外の者に米を売っても処罰の対象になります。

注 呼子町登録米穀販売店
伊藤商店殿之浦米穀販売店
小倉屋米穀販売店 柴田 和明
呼子米穀販売店 小宮 輝男
加部島食糧販売店

加部島食糧販売店

小川島食糧販売店

小川島漁業協同組合

町制50周年記念

行事を皆さんと盛立てよう

10月9・10日の両日

町制50周年記念行事実行委員会では、10月9日・10日の両日に予定されている記念行事執行について、町の皆さんの御協力をお願いしておられます。

行事の内容は次の通りです。

1 記念式典 10月9日午前10時30分開場

2 町内祝賀パレード 10月9日午後2時より4時まで

参加グループ等は
自衛隊音楽隊
呼子中学校フラスバンド
呼子金光教会フラスバンド

町内小中学校児童生徒
町内婦人会有志
町内青年団有志
町内年長者有志

行進のコースは、社会体育館前埋立地より出発、呼子・沓岐フェリー発着所を通り松浦町へ向い、愛宕町見返橋を渡って殿之浦清力まで進行し、帰りは昭和バス停留所前まで行進(解散)

各人の丸の小旗を作って行進に参加すること。

3 音楽会との自慢、腕自慢(手品や踊り、バンド演奏など)

10月9日午後6時30分より9時まで

申込は役場観光課まで、参加者のうち優秀なものには記念品を進呈します。

趣味の会等による催しもの
10月9日朝10時より10月10日午後9時まで。

① 生花展示 社会体育館
② 写真展示 卓球室・ロ
③ 書画展示 ビーに展示
各部落における記念参加行事予定

⑦ 山笠の飾りつけ(催しものを計画し、それぞれ準備飾りつけを行う)

山笠の引きまわし(10月9日・10日夕刻より午後9時頃まで)

④ 仮装行列(部落対抗、或は職場グループ毎に趣向をこらし行列に参加する)

⑦ 各家庭に於ては祭礼用のまんま、大提灯、国旗など飾りつけて祝賀の意を表わす。

6 呼子町史の頒布
頒布価額一冊四千五百円
申込受け付けの後、代金引換にて頒布する。

7 其の他
以上現在計画されている記念予定行事の概要をお知らせします。

七月末日
現在

お誕生



八月末日
現在

お誕生



川崎 勝悟(壽利 長男) 先方町

釣浦 優美(菊美 長女) 釣町

中島 良(忠志 長男) 宮之町

彦坂 陽子(修 二女) 松浦町

松本 真樹(孝一 二男) "

浜口 大介(俊助 長男) 川端町

今田 隆之(勝行 長男) 愛宕町

白岩 高信(高継 長男) "

竹口 泰博(克彦 長男) "

藤松 久美(久義 長女) 小友

山角 順一(正雄 長男) "

浦津 太(敏幸 二男) 片島

吉川 由美(正記 長女) 小川島



高砂や

平河 信久 殿之浦岡
加茂 てい子 小倉町



おくやみ

古館 タキ 76歳 海士町

神原 徳一 80歳 釣町

釣場 キン 85歳 "

山下 廣 70歳 松浦町

野添 タミ 88歳 殿之浦岡

八月末日
現在

お誕生



山角 真美(昌敏 長女) 松浦町

伊藤 孝弘(弘明 長男) 愛宕町

金丸美津子(光吉 四女) "

牧山 茜(明春 長女) 殿之浦西

山口善文(成司 長男) 殿之浦浜

落合 順子(敏文 長女) 小川島



おくやみ

福浦 マサ 70歳 釣町

松島 三郎 57歳 中町

丸井 鹿一 86歳 "

小峰 積一 77歳 宮之町

小笹 國男 56歳 松浦町

大山 春男 62歳 愛宕町

松本 マセ 82歳 加部島

香典返しお礼

神原政彦殿(釣町) 故父徳一様

釣場 進殿(釣町) 故母キン様

山下善介殿(松浦町) 故父廣様

野添正敏殿(殿之浦岡) 故母タミ様

福浦良未殿(釣町) 故母マサ様

松島光代殿(中町) 故夫三郎様

小峰雅男殿(宮之町) 故父積一様

小笹妙子殿(松浦町) 故夫國男様

呼子町社会福祉協議会